

軽井沢町子ども・子育て会議 第1回会議録

1. 開催日時 令和5年12月15日(金)14時から15時15分まで
2. 開催場所 軽井沢町中央公民館 1階 講義室
3. 出席者 委員：長岡委員、金井委員、佐藤委員、川崎委員、田野委員、神山委員、大森委員、荒谷委員、中澤委員、土屋委員、瀬原委員、饗場委員
軽井沢幼稚園副園長 竹内氏
オブザーバー：株式会社 大輝 2名
事務局：寺島こども教育課長、篠原児童係長、土屋コーディネーター、袖山主査、佐藤
4. 議題
 - (1)開会
 - (2)課長挨拶及び委員自己紹介
 - (3)議題
 - ① 軽井沢町子ども・子育て会議 会長・副会長選出について
 - ② 第3期軽井沢町子ども・子育て支援事業計画について
 - ③ その他
 - (4)閉会
5. 傍聴人数 2名

(1) 開会

【事務局】

皆さん、こんにちは、本日はありがとうございます。

それでは定刻となりましたので、ただいまより、軽井沢町子ども・子育て会議を開催いたします。なお、この会議は、軽井沢町審議会等の委員の選任及び会議の公開に関する指針に基づき、傍聴及び会議録の公開を行いますので、ご承知をおきください。

それでは、まず始めにこども教育課長よりご挨拶申し上げます。

(2) 課長挨拶及び自己紹介

○課長挨拶

【こども教育課長】

一言ご挨拶をさせていただきたいと思います。

本日は、時節柄お忙しいところ、この軽井沢町子ども・子育て会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

この会議は軽井沢町子ども・子育て会議条例に基づき開催するものでございます。

所掌事務は、子ども・子育て支援法の規定により、特定教育保育施設や特定地域型保育事業の利用定員を定める際にまず意見を聞くこと、市町村、子ども・子育て支援事業計画を策定または変更する際に意見を聞くこと、子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項及び実施状況を調査・審議すること、となっております。

本日は、令和元年度に策定された令和2年度から5か年の計画年度であります第2期軽井沢町子ども・子育て支援事業計画が来年度で満期を迎えることから、令和7年度から始まります第3期軽井沢町子ども・子育て支援事業計画について皆様のご意見を伺いたいと思いますので、何卒、よろしくお願いいたします。

なお、限られた時間ではございますが、様々な質問、意見を頂戴したいと考えております。よろしくお願いいたします。

○自己紹介

各委員より自己紹介を実施。

(3)①軽井沢町子ども・子育て会議 会長・副会長選出について

【こども教育課長】

それでは、会長が選出されるまでの間、私の方で進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは、資料に基づきまして進めさせていただきます。

3の会議事項に移らせていただきます。

軽井沢町子ども・子育て会議会長副会長選出について、でございます。会長、副会長につきましては、軽井沢町子ども・子育て会議条例第5条の規定により委員の互選となっておりますが、いかがしたらよろしいでしょうか。

どなたか、推薦いただける方、いらっしゃいましたらお願いしたいと思います。

なし

事務局の方で推薦という形でよろしいでしょうか。

一同
異議なし

それでは事務局案について説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】

それでは事務局案としまして、教育長職務代理者の C 委員に会長を、民生児童委員の K 委員に副会長をお願いしたいと考えております。

【こども教育課長】

ただ、いま、事務局案について提案がございました。ご意見がないようでしたら拍手をもってご承認いただければ、と思います。

一同
拍手

【こども教育課長】

ありがとうございます。

それでは、C 委員と K 委員については、会長、副会長の席にご移動をお願いしたいと思います。

【こども教育課長】

それでは会長より一言、ご挨拶をお願いします。

【会長】

改めましてこんにちは。

大変な重責を担うところでございますけれども皆様のご協力を持ちまして、無事に務めたいと思いますので一つ、よろしくお願いいたします。

さて、先ほど課長よりも挨拶がありましたとおり、第 2 期の軽井沢町子ども・子育て支援事業計画の計画年度が令和 6 年度で満期を迎えることから、令和 7 年度より始まり、第 3 期の軽井沢町子ども・子育て支援事業計画について、子ども・子育て支援法第 61 条第 7 項の規定に基づきその事業計画について審議するものでございます。

本日は様々な角度よりご意見をいただくとともに、皆様方のご協力により会議がスムーズにできるようご協力をお願いしまして、私からの挨拶に代えさせていただきます。

本日は、よろしくお願いいたします。

【こども教育課長】

ありがとうございました。次に副会長に一言、ご挨拶をお願いいたします。

【副会長】

皆さん改めまして私は民生児童委員の主任児童委員をやらせていただいております。子どもたちは皆さんにとって本当に宝物ということで、よく言われるのは、子どもファーストと言われるのですが、私は、それを一歩違う見方で、子どもセンター、子どもを真ん中に置きまして、それを私たち関係者がみんなで支えていく、というような考えで、会議が進んでいけば、というふうに考えております。どうかよろしくお願いいたします。

【こども教育課長】

ありがとうございました。

これより会議の進行は会議条例第6条の規定によりまして、会長が議長となりますので、よろしくお願いいたします。

【会長】

それでは進行の方を私の方でやらせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは早速会議事項2に入ります。第3期軽井沢町子ども・子育て支援事業計画素案について、事務局より説明をお願いいたします。

(3)②第3期軽井沢町子ども・子育て支援事業計画について

【事務局】

それではよろしくお願いいたします。

軽井沢町子ども・子育て支援事業計画は、子ども・子育て支援法第61条に基づく計画となります。平成27年度から令和元年度を第1期計画期間として、第2期を令和2年度から令和6年度までとしております。

第2期計画の策定にあたっては、令和元年に就学前児童と小学生の保護者を対象としたアンケート調査を実施し、その結果を基に計画を策定しております。

また、基本方針については、第1期計画を継承し、第1期に「根を張りたくましく伸びる軽井沢町の子どもたち」としております。第2期計画の作りとしては、第1章で基本事項、第2章では子ども・子育て支援の概況、第3章で計画の基本方針、第4章に事業計画、第5章で基本施策の展開となっております。

また、今後の流れについてになりますが、第3期計画については令和7年度から令和12

年度までを計画期間としますので、今年度中にアンケート調査を実施し集計を行い、来年度は分析に基づいた計画を作成します。

計画の策定にあたっては、子どもの意見を聞くワークショップの開催や、パブリックコメントを実施する予定であります。

皆様には今年度中にアンケート調査の結果を来年度に計画案をお示しいたします。

その後委員の皆様の意見を反映させた計画案についてパブリックコメントを実施し、パブリックコメントを反映させたものについて、再度ご意見を伺えればと思っております。次に本計画の策定に至った経緯であります。

本年10月2日にプロポーザル審査を実施した結果、株式会社大輝様に委託することとなりました。

株式会社大輝様をご紹介します。

それでは大輝様より一言挨拶をお願いいたします。

【株式会社大輝】

この計画の策定に当たりまして、お手伝いさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

次に、アンケート調査の素案について事務局よりご説明いたします。

その後、アンケート案について皆様のご意見を伺えればと思っております。

【事務局】

皆様、お集まりいただきありがとうございます。

それでは事務局からアンケート調査についてご説明したいと思います。

事前に皆様にはアンケートの素案と第2期の子ども・子育て支援事業計画をお送りさせていただいております。

子ども・子育て支援事業計画策定にあたり、国から指針が示されております。

地域子ども・子育て支援事業の現状の利用状況を把握するとともに、事業量の見込みを推計し、具体的な目標を設定することと指針の方には示されております。そのため、現状把握として量の見込みを行うとともに、軽井沢町における子ども・子育て世帯のニーズを調査するためにアンケートを実施いたします。

アンケートの内容としましては第2期計画の振り返り評価を行うために、第2期で実施したアンケートをベースとして、国から指針で示された計画に定めるべき項目を網羅しつつ、現状の子育て世帯の困りごとや要望を拾い上げるために自由記載等を設けています。

お手元に第2期の子ども・子育て支援事業計画書は、ございますでしょうか。

その15ページに保護者アンケートの内容を示しています。もし今、お持ちでない方がいらっしゃいましたら、こちらにお知らせいただければと思います。

第3期も15ページから記載されているアンケートの主な結果の内容を盛り込んで第2期の振り返り及び評価を行いたいと考えております。

第2期の振り返りだけでなく、現状の課題やニーズがどこにあるか自由記載を設け、課題やニーズの拾い上げをしたいと考えております。

皆さんアンケートの中で、内容をこうした方がいい、こういうのを追加した方がいいなどご意見いただければと思います。

【会長】

ありがとうございました。

ただいま、事務局より説明がありました。第3期軽井沢町子ども・子育て支援事業計画アンケート案について何かご質問意見あるでしょうか。

【A 委員】

アンケート内容については配布された素案に対する質問ということでよろしいでしょうか。

【事務局】

皆さんのところに既に配布されているアンケート案があります。

このアンケート案について質問や質疑がありましたらよろしくお願いします。

【B 委員】

アンケートは紙で配られ、紙で回答するのでしょうか。

【事務局】

質問がありましたアンケート調査ですが、紙媒体、インターネットを使った回答を考えています。保育園に通っている方は、ICTを活用しながら回答していただきたいと思っています。

保育園等に通っていない方は、住民基本台帳から対象の世帯を抽出し、郵送で周知させていただき、アンケートの紙だけではなくて、手軽にパソコンやスマートフォンなどで回答できるような形でできればと考えています。

【会長】

あと何かあればお願いします。

【I 委員】

アンケートを取ることは素晴らしいことだと思いますが、この自由記載の部分について、私も実際に子どもがいて、こういうアンケートが配られたときになかなか質問に対しての考えやスタンス、どんなことを書いたらいいのか、忙しい毎日でくたくたの中で書いて、後であればあったそれもあったという自分の経験があるのですが、アンケートの前に保護者同士で話し合うことで、保護者の困りごと、本当に計画に載ってきてもらいたいようなことが出てくる。アンケート実施の前の段階で何かできることはないのか、と私もアンケートを見たときに感じたのですがその辺りで、何か自分ができたりするのかなと思います。

【事務局】

それは各園で保護者同士が話し合う時間を設けるとか、そういうことですかね。

話し合う場については子ども向けにはワークショップを考えているのですが、それを保護者向けにもという話でしょうか。

【I 委員】

例えばそういうことが町で行われるというのかとか、町で行われないのであれば園単位でもできることはないのかな、と皆が率直に意見を交換し合って、その辺りでその後どうしたらいいのかみたいなのところとか、そのほうがより本当の声が出てくるのかな。というのは、せっかくこういうアンケートを出してもいつもあったけど、忘れちゃったみたいなことが勿体ないなと思ひまして。

【事務局】

この自由記述の部分はやっぱり本音というか、全体のこのアンケートの項目だけでは図れない、部分でもっと深くニーズというのを知りたいなと思って、今回は自由記述というところを多くしています。それを事前にとというのは、園などのご協力も必要かと思ひますので、そこは今、速答ができませんが、検討もしてみたいと思ひます。

【会長】

ありがとうございます。

【J 委員】

本音で話すというところだと思いますが、反対に書くことだったら本音で話せるという方も結構たくさんいらっしゃるのでは、これはこれですごい大事な部分かな、という気はします。もし園で保護者会とかお母さんとお父さんたちが集まって話す機会があったら、それはそれで町の方にまた声としてお届けも可能かなと思ひるので、自由記述はやっぱり欲しい方もいらっしゃるかな、という気はします。

【事務局】

先ほどもありましたけれども、私立については各園でご協力いただくような形にさせていただいて、場を設けていただけるならさせていただいてその吸い上げというので、ここに書いていただければありがたいかなと思います。

町立保育園についてはこちらの方で考えさせていただきます。

【L 委員】

今これを見る限りこちらの紙媒体を中心として考えている。

ところが、先ほど説明の中でインターネットでの回答も視野に入れるということなんですけれども、基本的に今の保護者達を見ているとみんな携帯電話でやっているという中で、インターネットの方を中心に考えた方がいいのではないかな。

そうすれば、今あったことも、例えば、回答した後でもお母さんたちで話した中であれもこれも言い忘れたというようなことを、また追加でどんどんここに重ねて回答できるような形のもの構築できれば、あえてエリアを何でもなくてもお母さん同士で話しして思いついたことを随時思い出してもらおうということができればその辺の問題解決するのかなと思ったわけです。

【事務局】

ありがとうございます。回答方法や反映方法につきましては、今後業者等と検討して参りますが、参考にさせていただきます。

【会長】

事務局からお答えありましたけれどもよろしいですか。きめ細かに意見を吸い取るという形をお願いしたいということでもよろしいですかね。

【A 委員】

できれば Google アプリなど、ネットでも簡単にいける内容で、時間もそんなにかからず、パソコンではなく、QR コードを読み取って簡単に回答できる形が良いです。

【事務局】

ありがとうございます。いわゆるアンケートの回答のところにチェックを入れる簡単な形式ということでもよろしいですかね。

【A 委員】

はい。自分でポチポチっと選ぶ回答数字で 5 とか 3 とか入れるのではなくてそこを選ん

だらといった形が簡単で、なるべく簡単にした方が答え、回答率は高いのかなと思います。

スマートフォンで、手軽に片手でできるというのが答える率が多くなるので、そうなる
と学校から出してもらえるといいかなと思います。

【会長】

そうですね。いろいろご意見いただいている、回答方法や配布方法については、ご意見を
参考に検討してまいりたいと思います。ありがとうございます。

より多くの方の意見を集約できるように、そういう方法を考えていただく、ということ
をお願いします。他にはどうでしょう。

【B 委員】

家で読んできたアンケートとざっと見たところこのアンケートの内容が違っていますが、
何か変わったことがあるのでしょうか。

【事務局】

同じものです。

【会長】

内容自体は配布されたこのアンケートの内容でいくというような考えでしょうか。

【事務局】

今皆様に示しているものがベースですが、今、「子ども誰でも通園制度」というのを国
でも進めており、令和7年度から全国的にどの市町村でも実施していくというようなこと
になっているのですが、そのニーズやその制度についてどれくらい皆さんが知っているか
ということ、利用したいかどうかということも含めて、質問を設けて、誰でも通園制度が
あれば使いたいかといった、項目を追加したいと考えております。

あと、全く同じかということ、字句の修正や使い方はもう一度事務局の方で精査させてい
ただいて、そういった多少なりの変更があるかと思っておりますので、ご承知おきください。

【会長】

私の方からちょっと理解ができなかった問題で、就学前の児童の世帯のアンケート用紙
の5ページの問い 10-2ですが1を選択した場合、問 7 へとなっていますが、戻る形とな
っていて、次の質問に繋がっていないですね。

【事務局】

今回3ページ目を見てもらうと、問6から問9まで質問があるのですが、これは第2期

になかった質問で、今、軽井沢町はかなり移住されてくる方が多い状況がありまして、なんで移動してきたのかということとか、移動してきて前に住まわれていたところから環境が変わってきたと思うのですが、その中で軽井沢町のことをどう思っているか、ただ、一時的な移動によるものなのかを調査したかったので、質問を追加しております。質問の番号の振り方を修正していなかったことがありましたので、そちらは修正させていただきたいと思います。

【会長】

ありがとうございます。

ずれている部分があるかと思imasのでそこはちゃんと繋がるようにしていただきたいと思imasのでよろしくお願imasします。できれば次の質問が記載されているページを記載した方が分かりやすいです。そんなところを修正いただいて、より回答しやすいようにしていただければいいなと思imasします。

他にはどうでしょう。

【D 委員】

3 ページについて、問 6 で移転されたかどうかとどのくらいの期間経つかを聞いて、問 9 で「移転された方に伺います」となっていますが、移転してきた方とそうでない方の 2 本立てにした方が分かりやすいと思imasました。

【会長】

わかりました。

ありがとうございます。

【B 委員】

今流れを見せていただいていると、そういうページ 3 の 8 あたりから自由記載が出てきますが、このアンケートのそもそも主旨的な部分は現状の子育てしてどう感じるか、現状に対することを書く内容だと思うというふうに理解しまして、一方、今後子どもが育っていく、自分たちの家庭で育てていくにあたっての未来に対する希望を書こうかと思imas場合は、最後のページに全般的なご意見ご要望を寄せてくださいということになります。

というのも、2ヶ月ぐらい前に連合会で全園の保護者に対して連合会の活動に対するアンケートを取ったことがありまして、その際に今の話と今後の話の希望があるかということ聞いた時に保護者の方がそこを明示しないとどっちの項目に今のことを書いて、どっちの項目に今後どうしたいと、例えば保育園の前の道路がガチャガチャしているから整備してほしいみたいな未来の話もあれば、今年中にみんなで集まってイベントしたいなど。

時間軸の整理というのをしないと、自由記載の項目が出てくると全部ここに書けばいいのかな、最初に全部書けばいいなと思ってしまう。皆さんお忙しいなとアンケートされて答えていると、ここに全部書けばいいなと。最初出てきた自由記載のところに今の話と未来の話混せてドンと書いてしまう。

時間軸で分けられているという理解になる前にここに全部書けばいいんだと思って、その時の今の悩み事と将来の希望と一緒にされているという事例が結構あったので、そういう意味ではおそらくその流れで同じ対象の方が答えるわけですから、アンケートが来た時最初にポンと出てくると、ここに今自分が考えていることを自由に記載すればいいんだな、という理解で書かれると、集計の際、どっちの話だろうみたいな風に結構手間がかかると思うので、おそらくソリューションとしては、現在、子育てしている中で感じたこととか、考えていることは何ですかという説明と、最終的に今後、未来にどういう希望がありますか、というのをこっちに書いてくださいというガイドをしてあげると、多分より受け取る側も読みやすい内容になるのかなと思いました。

【こども教育課長】

ありがとうございます。

確かに町の上位計画が現在は第6次長期振興計画。この中で前期がスタートしております、まさにおっしゃるとおり、現在の課題ですとか、今後数年、数十年の未来に向けての課題、希望というのを私どもも把握しまして、それを子育ての施策にいろいろ対応したいと思いますので、今いただいたご意見はそのとおりでと思いますので、そこは私どもも時間軸を整えまして、アンケートに対応させていただきます。ありがとうございます。

【会長】

他にどうでしょうか。

【J 委員】

先生のお話もたくさんいただきたいと思うのですが、これだけ不登校がだいぶ増えてきている中で、放課後の過ごし方についての設問がいきなり来ていて、行けない人もいる中で、見ただけで書くのが辛くなってしまいそうな、そんな気もするのですが、その不登校のお子さんをお持ちのご家庭は、そこまで配慮しなくても大丈夫でしょうか。いきなり、学校行っているという前提になってしまっているのが、少し気になってしまったのです。

【事務局】

一応子ども子育て支援事業に関するアンケートにはなっていて、放課後の放課後子ども教室とかそういったところの需要やニーズの調査というふうにはなっているので、項目とすれば子どもの放課後子ども教室の利用調査というふうになっています。流れるなところ

は特に指針とかで打たれているものではないので、変えることは可能かとは思いますが。

【E 委員】

小学生のいる世帯用の 10 ページ掘りの 17、ここがそういう学校という場所ではない学びを今、しているお子さんたちのご家庭が記入するところかなと、理解をしていきたいと思えます。

それからその次の 11 ページの間 22 などは、学校は来ていないけれども、放課後の子ども教室には行っているお子さんもいると思えますので、学びの場が多様になってきていますので、全て包括的に書けるという状況で、後は相手の取り方なのかなと思えます。その辺をどういうふうにアンケートの趣旨として伝えることができるかということが、最初の部分かなと。多様な学びとか居場所ということが、今言われていますので、フリースクール等も含めてというところの文を入れていただいたりするのもいいかなと思えますし、10 ページと 11 ページで点線が入っているか入っていないか、本当に細かいところがいろいろ書き方はありますよね。先ほどお話のあった未来のことってこの 10 ページ 11 ページのことかなと私は思ったので、これを就学前の児童の方にも入れてもいいかなと思えます。最初の話に戻りますと本当に多様なので、私は本当に皆さん、どこの意見も聞きますよ、という枠を同じように書いていただいて、その趣旨を最初に書いていただければ私はありがたいなと思えますし、そういう視点をこの場でご意見いただけたのは、本当にありがたいなと思っております。

以上になります。

【会長】

ありがとうございます。また、校長先生や学校教育係とも相談しながら、この辺工夫させていただきたい。

ちょっと配慮を頭に念頭に置いて工夫したいと思えます。

【H 委員】

よろしいですかね。

保育園のお母さんたちの様子から見て回答率を上げることを目的にするとしたら、やはり保育園での提出と郵送であれば、保育園へ提出した方が多分、保育園に出してもらった方がこっちでチェックして集計できるので、出てないお家の方へは出ていないということ声をかけできるので回答率は上がるかなと思えます。

先ほどやっぱり A 委員が言うように、本当に忙しいお母さんたちが今増えているので、ポチポチポチというのは便利だと思います。便利ですけども、細かいところまでの集計はいかないという結果も出るのかなと思って聞いていました。

もし保育園で出すとしたら、保育園で集計して、うちは 40 人で少ないので、多い保育園

の方たちは大変かと思うのですけれどもその方が回答率は上がるのかなと思います。

【会長】

ありがとうございます。

今は本当にインターネットの時代で手軽にできるということで、A 委員の方からもインターネット的なものもいいということでありました。けれどもまた、H 委員の方から、やはりこういうペーパーによる保育園で取りまとめをやる方が、回答率が上がるのではないかという意見でございます。

できれば事務局の方で回答をお願いいたします。

【事務局】

そうですね。

業者の方からもそのようなアドバイスをいただいております、やはり園に所属している保護者さんの回答というのは、園で回収する方が、回答率が上がるという傾向にあるそうなので、私立の保育園幼稚園に関しましては、ご協力が得られればというところとさせていただければと思います。

【会長】

ありがとうございます。

他にはどうでしょう。

【J 委員】

「大地に根を張りたくましく伸びる軽井沢の子どもたち」というテーマが私はちょっと引っかかってしまっていて、この「たくましい」という言葉って皆さんどうイメージされるのかわからないのですが。

20 ページに入る計画の基本方針のところです。

「たくましい」って一言で一つのイメージを作るのもすごく危険な言葉だし、なかなか理解できないし、その人らしいことを生きる時代になってきているので、もし変えることが可能だったら「大地に根を張りたくましく伸びる軽井沢の子どもたち」、例えば「自分らしく伸びる軽井沢の子どもたち」とかそっちの方が一人ひとりであって、ただこれを変えられるかどうか、よくわからないのですが、意見とします。

【事務局】

ありがとうございます。

これは第 1 期を継承してというところでこういう形になっているかと思うのですけれどもまたこちらは来年度詳しい基本計画を練る時にまたご意見いただいて変えることは可能

です。

基本的に、このアンケートをまず実施してその取りまとめをしてから、今後このような事業計画を作成していくということで、計画の内容自体はアンケートが終わった段階から考えるという、そういう基本的な考えでよろしいでしょうか。あくまでも第 2 期軽井沢子ども・子育て支援事業計画の関係であったけれども、これから第 3 期についてはそうではなく、時代とともにまた新しい考えで、そういう理解でよろしいですかね。

【事務局】

長期振興計画の少子化とか子ども・子育ての目標のお題目をこちらに持ってきている可能性もあるので、確認しておきます。

【会長】

よろしくお願いいたします。

どうでしょう。他にこれから大事なアンケートになりますので、ご意見お願いしたいかなと思います。

【E 委員】

アンケートの取り方ですが、子どもが 4 人いたら 4 枚配布されるか。

保育園と幼稚園の児童がいたら 4 つ来ると多いと思うかなと思ひまして、そこら辺が多くの意見を取って反映したいという思いとずれてはいけないと思ひました。

【会長】

貴重な意見でございます。ありがとうございます。

事務局、よろしいですかね。

【事務局】

世帯で取りたいと思ひます。

小学生と未就学のお子さんのところはそれぞれアンケート用紙を 1 枚付けて 1 世帯に送るみたいな感じですね。小学生が 3 人で保育園児が 1 名だったら一部ずつ、小学生用と就学生用が一部ずつ行くようになるという形です。

【事務局】

わかりやすい配布ということで、意見がありましたら、よろしくお願いいたします。

【I 委員】

これは現時点でいつごろ保護者向けに出される予定でしょうか。

【B 委員】

事前に連合会通じて各保育園の保護者会にこれ確実に回答するようにプッシュしたいと思うので、その日程を教えてくださいませんか。

【事務局】

2月頭に配布で、2月中旬か下旬の締切の予定です。

【会長】

ありがとうございます。

【D 委員】

できれば、アンケートがいつそれぞれまとめられて、いつごろまでに作るかという流れがあった方が良いでしょうね。

【会長】

ありがとうございます。

あとはどうでしょうか。よろしいですかね。

それでは他にご意見がございませんので、次に移りたいと思いますがよろしいでしょうか。

それでは次に会議事項その他について事務局より何かありましたら、よろしくお願ひします。

(3)③その他

○軽井沢幼稚園の利用定員の変更について

【事務局】

まず始めに別紙でお送りしております資料1をお願いいたします。

先日、軽井沢幼稚園の方から利用定員を変更したい旨の申し出がございました。

冒頭の課長の挨拶にもありましたが、特定教育保育施設の利用定員を定める際は子ども・子育て会議の意見を受けることとなっております。

また、子ども・子育て支援法により特定教育保育施設の利用定員を減少する場合は市町村長に届出が必要となっております。

したがって本日の会議において軽井沢幼稚園の利用定員の変更について皆様のご意見を伺いたいと思います。

それでは資料1について軽井沢幼稚園さんの方からご説明をお願いいたします。

【軽井沢幼稚園】

急遽代理でまいりましたので、園長に代わってご説明申し上げます。

以前は35人の定員でございました、それを25人に変更したいと考えております。

その理由といたしましては、軽井沢幼稚園は異年齢保育をしております一クラスの申請になっております。この町の中でいろんな教育施設が増えてきた中で、私どもは幼稚園として存続していきたいということを考えてまいりました。

その時にそれぞれに特徴がありまして、保育園であれば長く働いている親御さんたちのために工夫をされるという特色がありますが、軽井沢幼稚園としては少人数の中でいろいろなお子さん、例えば、軽い障がいをお持ちの方ですとか、養護施設から来ている子どもたちですとか、里親から来ていらっしゃる方とか、あとは、ご家庭が外国の関係のお家の方になります。そういった方たちというのは文化の違いもありまして、こちらとしては例えば、給食でスナックを持っていらっしゃる訳ですね。デザートはいいのだけれども、お菓子とかはダメですって言うてもじゃあ、これならいいですかってなります。

多分、文化が違うので、なんでデザートはいいのに他のお菓子はダメっていうのがわからないのだと思います。その辺が小人数ならではの対応ができるというか。

私たちは給食とお弁当を選ぶというようになっているのですが、その時にみんなが一緒じゃなくてもいい、という想定で、幼稚園すべて行っておりますので、その時に例えばグレーゾーンと言われて診断されたお子さんたちもみんなと一緒にできなくても、それは私たちが狙いを定めているスケジュールとともにそれができる子どもたちもいれば、年少の時にはできなくても年中になった時に、または卒園するまでにはできる子どもたちもいます。でも、その年少さんの時点、年中さんの時点でできなければ診断名が付けられてしまうなど、お家の方が少し悲しい思いをされるようなことがあります。

そういった子どもたちを受け入れておりますので、多分親御さんたちも小さい園だからこそ思っている方がたくさんいらっしゃると思います。頭の頭蓋骨の手術をして、頭に手術で頭蓋骨を広げる器具が入っていると。

そういうお子さんもいらっしゃって去年卒園したのですが、今後、心臓の手術を控えているとか、そういう方が必ず毎年いらっしゃいます。

そういう子たちを見ていく中で、やはり今まで35人で300平米ぐらいなのですが、保育室が、それだとちょっと35人でやった時もあったのですが、もう本当にいっぱいになってしまって、なかなかいい保育ができませんでしたので、私たち25人以下の子どもたちをお預かりして、それぞれのニーズに合った対応ができるようにしたいと思っておりますが、自然と今いらっしゃる方たちも3年連続で25人を切っている状態です。いろんなニーズがある中でお母様方が働かれる方たちが増えていらっしゃいますので、今、この時代に幼稚園を選ばれる方もだんだん少なくなってまいりますので、先ほどもお話にありました、誰で

も通園できるというふうに保育園がなるようになってくると、今後も幼稚園を選ばれる方、というのは少なくなってくるのかなと考えております。

でも、その中で必ず少人数の幼稚園に通いたいという方もいらっしゃるのではないかと考えております。

そういう中で私たちは35人定員を25人定員に変えていただければと考えております。

事業が延びまして、本当は令和6年度に建て替えをしたいと考えておりましたが、それは今、礼拝堂も保育室として使っていますが、礼拝しているところで、全部椅子を下げて、そこを体育室のようにしていて、さすがに90年代の建物ですので、壁にヒビが入っており、いろいろ曲がっております、本当にこういう状態でお子様をお預かりするのは責任が持てないな、ということを感じております。

急に建て替えしなければならないと思って建て替えを今計画している最中ですが、それがちょっといろいろ整わずに一応1年後に延びまして、令和7年に新しく園舎を建て替えたいというふうに今計画をしております。

そういう状態の中で、同じ面積でしか建て替えの規模もできませんので、現状、今後もそのくらいの人数しか受けることができないという形になりまして、できれば、利用定員を25名という定員に換えさせていただきたいと思っております。

今までも町内でどんどん子どもたちが増えていらっしゃいますので、町内にある施設の定員数が減ってしまうことによってご迷惑をおかけすることがあるかな、という心配もありましていろいろ検討していたのですが、やはり新しくできてくるところもどんどんありますし、隣の町にバスで通園をしている方たちもいらっしゃいますので、その辺は今大丈夫なのではないかなというふうに園の方では判断をさせていただきました。

そして、もしできればそういう形で少人数ではあるのですが、受け入れていければ、そういう意味で、この町に貢献していければと考えております。

どうぞご検討ください。よろしく願いいたします。

【会長】

ありがとうございました。

内容は皆さん理解していただいたでしょうか。

それでは皆さんの中でこんな意見があるというようなことがありましたら、一つお願いしたいかな、というふうに思います。

庭の方から入って左の方にあるのは事務所ですね。

クラスは2クラスの教会の横が教室ですかね。

【軽井沢幼稚園】

一応アコーディオンカーテンで2つ区切って小さい保育室と大きい保育室があるんですけども日々は1つで過ごしておりますので、そこで今は22人が過ごしています。

雨の日とかは外で遊べないので礼拝堂で跳び箱したり、鉄棒したりとか、礼拝堂できちんと礼拝になっている椅子を全部後ろに下げさせていただいて、そこに体育道具を出して運動しています。

【会長】

定員については以前からそんなような問題がありましたよね。

【軽井沢幼稚園】

定員が多い少ないというようなこともあって、少なくて定員を半分にするかどうかという形と、資金が足りないということで、継続していくには、その時の園長が資材を投げ売ってお金を出していたという時代がありましたので、学校法人に変え、補助金をいただけるようになったのですが、7年前に私が来たときは10人しか子どもがいなくて、軽井沢幼稚園を廃園するかどうかという状況でしたが、少し人数が安定してきて20人以上は来てくださるようになり、3年前に施設型給付園として補助金をいただく形でなんとかしのげるようになりまして、今後建て替えについて補助金を活用いたしまして、建て替えしていくという目処がつきそうなところで今継続をしているところになります。

【J 委員】

一人ひとりを丁寧に見ていくということは、そこはやっぱりすごく大事なところだろうなと思うのと同時に、小集団として育つこともすごく良いなと思うのですが、3歳児以上なので7人、7人、11人という話し合いもできる人数であるので、応援したいなと思います。

【会長】

ありがとうございます。

他にご意見どうでしょうか。

【M 委員】

今のお話は要するに、運営上、定員を少なくしてもらうのを認めてくれということですか。これを受け、我々は何を言っても、そういう要望を出してくるのだったら、これも子どもたちの安全確保も大事なので、他の人が何を言っても、それは会社の考えですから、これは認めざるを得ないじゃないですか。これを認めていいと思います。

【会長】

ありがとうございます。

【事務局】

冒頭でも、子ども・子育て支援会議の意見を聞かなければならないというふうには法律の方で決まっております、今日参考として意見をお聞きしているという形になります。

確かに諮問機関ではないので、賛成・反対をする立場ではありません。

ただそのご意見を伺うということになっておりますので、今回聞いた次第です。以上です。

【会長】

それでは今説明がありました。35名を25名ということではいろいろ意見を出していただきましたけれども反対意見というものはないというふうに理解したいと思います。

他にご意見や質問がある方はいませんので、事務局と軽井沢幼稚園で利用定員の減少に向けた事務を進めていっていただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

【軽井沢幼稚園】

どうもありがとうございました。よろしくお願いいたします。

【会長】

それではその他事務局の方でありますでしょうか。

【事務局】

申し訳ありません。もう一度お願いいたします。

次回はアンケートの集計結果についてご報告させていただきたいと思います。

時期については3月を予定しておりますが、正式な日程については後日また郵送にてお知らせさせていただきます。

また、スケジュール案についてもお示しさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

あともう一点、今日、机の上に茶封筒が置いてありますが、委員報酬の口座振込依頼書になります。

また、委員報酬支払に際しましてシステムにマイナンバーの登録が必要となりますので、そのご案内も同封しております。返信用封筒にて、ご返送いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務局からは、以上になります。

【会長】

ありがとうございました。

他に委員の皆さんから何かご意見がありましたら、よろしく申し上げます。
よろしいですかねありがとうございます。
それでは無いようですので議事進行を事務局の方へお返ししたいと思います。

(4) 閉会

【事務局】

本日は会議の進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
また、先ほどアンケートについてご質問等を受けたわけですけれどもまた、他に何か気づいたところがありましたら、事務局の方にご連絡いただければと思います。
長時間にわたりましてこの第3期子ども支援計画の策定に向けたご協議をいただきましてありがとうございました。
実は町におきまして、やはり、子ども施策については、今重点的に来年度からいろいろ考えております。また具体的なものにつきましては、それぞれの保護者、保育園、幼稚園、そして小学校、中学校等へお知らせしたいと思います。
それでは以上をもちまして軽井沢町子ども・子育て会議を閉会いたします。
ありがとうございました。